

秩父市シルバー人材センター 通信シルバー秩父

令和5年7月号

令和5年6月末
会員数 679

定時総会の開催

去る6月20日(火) 令和5年度定時総会が福祉女性会館において開催されました。

新型コロナウイルスの位置づけが5月8日に5類となりました。社会活動についてはメリットがありますが、感染リスクがあがる、受診控えなどから重症化する人が増える懸念等のデメリットもあります。

今年度の総会開催にあたっては、国のルール変更に関わらずリスク軽減のため、昨年同様「新型コロナウイルスの感染拡大防止」という観点から、会員の皆様に対しまして、書面による議決権行使及び委任状での対応をお願いしました。

出席者(理事・監事等) 10名、書面評決及び委任551名、合計561名により総会が成立しました。報告事項は5件で、決議事項3件が承認されました。会員の皆様のご協力ありがとうございました。



おめでとう申し上げます

表彰については、当日手渡すことができませんでしたが、表彰者は次の方々です。(敬称略)

会員20年表彰

坂本 文代	坂本 三男
山中フサ子	内田 勝
高橋 信夫	小栗 勉
町田 清	木下 光一
樽井 朝次郎	

会員10年表彰

佐野 秀子	阿部 秋子
和氣 心宗	高野 豊
加藤 忠	勅使河原サト江

女性委員会

6月20日より、常任委員会に「女性委員会」が加わりました。シルバー会員の対象者(市内在住の60歳以上の方)は女性が多くなっていますが、シルバーに登録いただいている女性の方は会員の約三分の一となっております。

山中 重正	村木 益雄
井上 昇	岩田ゆきえ
坂本 武好	柿境 良文
櫻井 洋昌	宮崎 治子
岡本 清	新井 久慶
岩崎智恵子	岩田 茂
新井 英光	浅見憲一郎
宮谷 実	山中 正行
福泉 實	新井 益雄
大澤 松治	櫻井 福三
水野 晴夫	

女性会員が少ない理由はいろいろ考えられますが、一人でも多くの方に会員として活動いただけるよう、女性委員会で検討していきます。具体的なことは随時ご案内します。

熱中症を防ぎましょう

今年度は、5月に真夏日、6月の段階ですでに気温が40度近くに上昇した日があります。熱中

症患者のおよそ半数は65歳以上の高齢者と言われています。高齢者は暑さや身体の調整機能も低下しているため、注意が必要です。熱中症を防ぎ、会員皆さんの健康管理のため、適正な対策を実施しましょう。

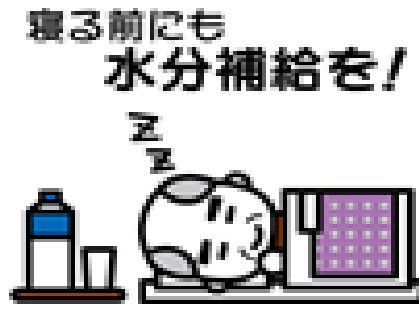
参考(対策例)

暑さを避ける、身を守る

- 室内では
 - ・ 扇風機やエアコンで温度を調節
 - ・ 遮光カーテン、すだれ、打ち水を利用
 - ・ 室温をこまめに確認
- 屋外では
 - ・ 日傘や帽子の着用
 - ・ 日陰の利用、こまめな休憩
 - ・ 天気の良い日は、日中の外出をできるだけ控える。
- ・ 身体の蓄熱を避けるために、通気性のよい、吸湿性・速乾性のある衣服を着用する。
- ・ 保冷剤、氷、冷たいタオルなどで、身体を冷やす。



こまめに水分を補給する
屋内でも、屋外でも、のどの
渴きを感じなくてもこまめに水
分・塩分、スポーツドリンクな
どを補給する。



マスクの着用により、熱中症
のリスクが高まります。

マスクを着けると皮膚からの
熱が逃げにくくなったり、気づ
かないうちに脱水になるなど体
温調節がしづらくなってしま
います。暑さを避け、水分を摂
るなどの「熱中症予防」とマスク、
換気などの「新しい生活様式」
を両立させましょう。

また、体調に応じて、屋外で
人と十分な距離（少なくとも2
m以上）が確保できる場合には
マスクを外すようにしましょう。



さらに、熱中症が疑われる人
を見かけたら、エアコンの効い
ている室内や風通しのよい日陰
など涼しい場所へ避難させま
しょう。衣服を緩め、身体を冷や
す（特に首回り、脇の下、足の
付け根など）対応もお願いしま
す。

暑さを避けよう



自力で水が飲めない、意識がない
場合は、すぐに救急車を呼びま
しょう。

（厚生労働省資料参照）

※ 定時総会案内に同封した
リーフレットも参考にして
ください。

農園だより

シルバー農園では6月20日、
27日、サツマイモの植え付け作
業を行いました。会員13名が参
加し、紅はるかを230本植えました。
秋の収穫時には、またお知
らせしますのでご注文をお願い
します。



親睦会

グラウンドゴルフ大会結果

令和5年6月24日（土）

於 別所総合運動公園

優勝 横田咲代 準優勝 上林靖男

3位 田口好之 4位 市川和男

5位 茂木 侑 6位 柿崎米一

7位 山中寿子 8位 新井清久

9位 佐藤晴夫 10位 若林タツノ

参加者 38名
ホールインワン賞 19名



ウニクスチャレンジデー参加

6月に引き続き、7月2日
（日）まんじゅう班（山下ヨシ子
班長）がチャレンジデーに参加
しました。当日は、事業委員会
のサポートもあり、手作りまん
じゅうの販売、シルバー会員の
募集等行いました。



会員活躍ひろば

今月の「活躍ひろば」は草刈り班の 山口隆一さんにインタビューしました。

(質問) シルバー会員に入会されたのはいつ頃でしたか。

(山口) 八年前に入会しました。最初は植木班の仕事をしました。その後草刈り班にも入り、仕事をいただくようになりました。



(質問) 現在草刈り班は何名位の会員がいますか。

(山口) 草刈・植木の班としてはほぼ同じメンバーなので全部で

三〇名くらいになります。班長を十二名置いて、基本的には二人一組になり仕事をしますが、就業場所により人数は変わります。



(質問) 仕事の内容をお聞かせ下さい。

(山口) 草刈作業は草刈の機械を使います。五月中旬〜十月頃までの注文が多く、忙しい時期となります。お客様のの中には、年二〜三回依頼される方もおられます。

植木の仕事は、一般家庭では九月〜十二月頃までが忙しくなります。公共施設は、一月〜三月頃にな

ります。一式で請負仕事になります。就業時間は一日だいたい七時間くらいになります。



(質問) 安全面についてお聞かせください。

(山口) 安全のため、三脚はしっかりと固定します。また作業できる樹高は三・五メートルまでとなっております。

草刈り作業の場合は、飛び石防止のため、まず防護ネットを張り、草刈刃を確認して、自分たちの服装にも注意し、作業を行っています。

(質問) 趣味をお持ちでしたらお聞かせください。

(山口) 剣術、居合道、杖道を四十年くらいやっています。心・技・体を鍛えて、元気に続けて行きたいと思います。もし、興味を持たれた方がおりましたらお話しください。いろいろ紹介させていただきます。

(質問) 最後に何か仕事に対して考えはありますか。

(山口) 自分に合っていて、余裕を持って楽しみながら、作業をしていこうと思つてます。万が一、事故など起きた場合は、全員が自身の問題として捉え、話し合い、原因を明らかにしていくことで事故防止になると考えます。

これからも健康に気を付けて、仲間と助け合いながら仕事をしたいと思つています。

